

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 8月 23日

事業所名 放課後等デイサービス あひろば社

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5			どうしても死角になってしまうスペースが ある為職員同士連携し死角をなくするよう に努めている。	
	2	職員の配置数は適切である	5			送迎や支援内容によって工夫している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	5			室内の一部段差をスロープにかえている。	排泄・着替え時のプライバシーが守れるような配慮が必要。
業務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画し ている	5			個別支援計画書の作成時から、職員間で共 有したり、ミーティングや対話等で改善点 や情報共有をしたりしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	5			保護者の意向・意見を職員間で把握した上 で、業務改善に繋げています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5			弊社事業所のホームページに公開していま す。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		5			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5			動画にて支援内容等の研修を行っています。 外部の研修に参加しています。	今後も積極的に研修に参加していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 で、放課後等デイサービス計画を作成して いる	5			児童発達管理責任者又は児童の担当職員を 中心に、児童・保護者・職員間で話し合 い、客観的に分析した上で作成していま す。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使 用している	5			保護者様との密な連携を図りながらも学 校・病院等との情報交換も行うようにして いる。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	5			プログラム作成者を中心に職員間で意見を 交換し、プログラムを作成しています。	チーム一丸となりどの職員もプログラム立案に積極的に 参加しミーティングを重ねていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	5			児童の希望を聞いたり、季節感のあるイベ ントを取り入れています。	保護者の意見も取り入れ、新しい活動の場や内容を模索 していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援している	5			個別の課題は設定しています。平日は、宿 題・基本的な生活習慣に重点をおいていま す。また、長期休暇ならではのイベント活 動も積極的に行っている。	長期休暇において、細かい支援内容を設定できるか、職 員で検討していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて放課後等デイサービ ス計画を作成している	5			アセスメントを基に、各児童に適した個別 活動、小集団活動を適宜に組み合わせたり、 発達段階と状況に合わせたプログラム 活動に幅を持たせている。	個別と集団の活動をバランス良く組み合わせていきま す。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認している	5			日々の活動予定表をボードに示し、支援内 容・役割分担を確認しています。前日の出 来事など情報共有を行い児童の現状を素早 く把握する事に努めている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			当日に発生した事故・ヒヤリハットについて、些細な事も含めて振り返り、対応等を共有しています。必ず記録を取りより良い支援に繋げています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			正確な記録を取り支援内容に問題がなかったか、支援の改善に努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			定期的にモニタリングを行い、ご家族の意見などを伺いつつ必要に応じて、計画書の見直しの必要性を判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児童の担当職員又は児童発達支援管理責任者、施設長が参画しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			行事予定表・下校時間表を頂いたり、緊急時には電話にて対応しています。	情報漏れがないよう、送迎時での申し送りにて確認したり、先生方とのコミュニケーションをさらに向上させます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5	保護者間との連絡体制のみになっています。	必要な児童に関しては、主治医等との連絡体制も整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			移行支援会議に参加する事で、情報共有と相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			必要な情報は提供できるようにしています。	必要に応じて移行場の職員とケース会議等を開き最後まで責任ある支援に努めていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			業務に支障が出ないものにはzoomやyoutubeなどを利用している。	もっとどのような研修が開かれているのか職員が手軽に確認出来る環境作りを目指したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5		コロナウィルス感染防止対策の為参加できていない。長期休暇中を利用して交流を考えていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			送迎時に学校の先生から伝えられたこと、事業所での様子を保護者の方に伝えていきます。	連絡帳をもっと活用し児童の小さな変化や気づきなどもお伝えできるようにしていきたい。必要に応じて面談機会をさらに設けていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5		ミーティング等での対応や失礼のない話し方などの助言を受けることはある。	会社全体での研修を開き対応を統一したい。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に説明しています。	送迎時などで保護者からの急な質問があっても対応できるようにしたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			こちらが立ち入れる範囲以内で送迎時や来所での面談・相談対応を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5				現在はありますが、必要性があるなら開催を考えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			苦情相談受付窓口を設けています。担当者を中心に対応しています。職員間での会議も設け、保護者・相談員に伝えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			弊社ホームページ・月のプログラムを通して発信しています。	保護者や児童からの要望も取り入れていきます。
	35	個人情報に十分注意している	5			十分注意しています。契約時に説明した必要時以外には使用していません。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			障がいの特性に合わせた絵カード・送迎時・連絡帳を用いて伝達の配慮を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5	合同イベント等を積極的に開催し事業所同士の交流はあります。	地域交流はまだ行っていないが、事業所でのイベント時に、考えていきたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			流行型の感染症の時期には、定期的に注意喚起等のお知らせをしています。	緊急時、防犯マニュアル等に対応を明確にしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			定期的に避難訓練を行いもしもの災害に備えます。災害マニュアルを作り職員に周知徹底を行っています。	災害時非常用の備品・食料の充実
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			研修を受けたり職員間で児童の様子を共有したりしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			必要がある可能性のある児童の保護者には事前に説明、同意をいただいております。	個別支援計画のひとつとして記載していきたいです。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			フェイスシート・保護者を通じて確認できているものには対応しています。	塗り薬や絆創膏などのかぶれやアレルギーなどにも気を向けたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			危険予測は常に朝礼やミーティング、終礼などで職員間で話し合い情報を共有している。事故があった場合には報告書にて今後の対策を話し合っている。	